

令和 7 (2025) 年度 経営健全化方針に基づく取組状況

1 基本情報

所管部署:産業振興部商業観光課

名称	株式会社 柏崎ショッピングモール 代表取締役社長 吉田 直一郎				
所在地	新潟県柏崎市東本町一丁目15-5	電話番号	0257-20-0011		
		ホームページ	http://www.fonjie.com		
設立年月日	平成9(1997)年 8月22日				
事業内容	ショッピングモールの管理運営				
資本金	40,000 千円	市出資(出捐)金	10,000 千円	市出資割合	25.0%

2 経営健全化方針を策定した理由

・平成29(2017)年度決算で債務超過額が132, 073千円発生したため、経営健全化方針を策定した。

3 財政的リスクの状況

(決算状況)

単位:千円

	R3(2021)年度	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度
債務超過額(千円)	147,656	171,341	190,291	207,880	214,612

4 主な取組状況(令和8(2026)年3月現在)

【法人自らによる経営健全化のための具体的対応】

・令和5(2025)年10月に地下1階にあったテナント撤退後の後継テナントが決まっていないため、テナント誘致に取り組んだ。
・年間販促を計画どおり実施した。フォンジェマルシェを実施したほか、キッズマジックに隣接するレストスペースや地下の空きスペースを活用したイベントにより集客を図った。
・修繕費用を捻出するため、令和7(2026)年4月から共益費の徴収を行った。
・令和7(2026)年6月に子供向け雑貨を取り扱う店舗がオープンしたことで、キッズマジックとの回遊性が高まり、集客力の向上が図られた。

【市が行った財政的リスクへの対処のための対応】

・毎月の役員会に出席するなど当該法人の経営状況について適宜情報共有を図った。

5 法人の財務状況

(決算状況)

(貸借対照表から)

単位:千円

項目	R3(2021)年度	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度
総資産額	777,744	757,965	740,001	709,644	683,679
(うち現預金)	10,525	7,121	6,846	6,175	5,390
(うち売上債権)	12,078	14,248	11,943	11,357	10,406
(うち棚卸資産)	37	64	7	0	0
負債総額	925,400	929,306	930,292	917,524	898,291
(うち市からの借入金)	0	0	0	0	0
純資産総額	△ 147,656	△ 171,341	△ 190,291	△ 207,880	△ 214,612

(損益計算書から)

単位:千円

項目	R3(2021)年度	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度
経常収益	152,445	162,403	143,104	138,168	138,489
経常費用	164,966	185,909	161,873	155,578	145,040
経常損益	△ 12,521	△ 23,506	△ 18,770	△ 17,410	△ 6,551
経常外損益	63,843	△ 180	△ 180	△ 180	△ 180
当期純損益	51,322	△ 23,686	△ 18,950	△ 17,590	△ 6,731

6 外部有識者の意見

経常収益については、概ね前期同水準での着地となる中で、経常費用については約10百万円の抑制が図られたことにより、相対的に経常損益額は改善した。
しかしながら、依然として最終損益での赤字は継続しており、債務超過額も増加している状況を鑑みると、事業を継続すればするほど事業毀損を続けている状態であり、第3セクターではなく、一般事業者として考えた場合には、早期の事業停止が経済合理的には妥当であると考えることが自然である。このまま事業継続をすることで、最終的な清算を迎える際には、より負担額が増加していくことはしっかりと認識する必要がある。
P/L的には、減価償却費負担が相応にあることから赤字となっている面もあるため、C/Fとしては当面はまだ維持できると見られるが、それでも現状では清算価値マイナスの状態とみられる中で、いつまで事業継続をしていくのか、撤退判断基準などは明確化しておく必要があると考えるべきである。